

胆振東部地震による被災状況及び対応状況等について

札幌市保健福祉局障がい保健福祉部

1 札幌市の被災状況

避難状況 (最大時)	開設数 306 か所 避難者数 11,287 名	9月7日(金)時点
人的被害	死者 1名 負傷者 297名	11月20日(火)時点
物的被害 (住宅)	全壊 86件 半壊 591件 一部損壊 3,639件	11月19日(月)時点

2 震災後の行政対応 (9/6～)

<市役所(障がい保健福祉部)>

入所施設等への確認	<ul style="list-style-type: none"> ・ 人的・物的被害の状況 ・ 非常用電源の有無、燃料の残量 緊急給油に係る連絡調整 ・ 備蓄食料の残量、支援物資に係る連絡調整
通所施設等への確認	<ul style="list-style-type: none"> ・ 人的・物的被害の状況
国との連絡調整	<ul style="list-style-type: none"> ・ 電源車の配備等支援物資を要請 ・ 施設修繕に係る国庫補助申請
区保健福祉部の支援	<ul style="list-style-type: none"> ・ 避難所への職員派遣
被災者対応 (相談支援)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 被災者のこころの専用相談電話の設置 ～担当：精神保健福祉センター～ ・ 生活福祉相談窓口への職員派遣、 保健師、セラピスト、看護師等の派遣 (清田区体育館)

<区役所（保健福祉部）>

区役所での通常対応	・ 来庁者の対応
避難所の運営	・ 避難者の受付 ・ 備蓄物資等の配布
関係機関等との連絡調整	・ 要配慮者に係る情報共有

3 地震・大規模停電により発生した事案（障がい保健福祉部関係）

人工呼吸器等の電源問題	・ 自宅の予備バッテリーや酸素ボンベが不足した世帯が多かった。
視覚障がい者の危険察知	・ 食器類が割れて散乱した世帯では、ヘルパーや近親者が訪問するまで室内を整理できなかった。 ・ 信号が停止し、また、道路の陥没状況等がわからず、外出を控えた方も多かった。
聴覚障がい者への情報伝達	・ 停電によりテレビが使えなかったため、情報収集がメールや近親者からの伝達に限定された。
施設・事業所の運営問題	・ 停電や断水等により、臨時休業する事業所が多かった。 ・ 地震により建物が被害を受け、事業所の移転を余儀なくされたところがあった。

4 今後の方向性

- ◆ 札幌市による震災対応の改善を図るため、全庁的な検証作業を行う。
- ◆ 公共施設等の非常用電源の整備を推進する。
- ◆ 防災意識や地域の連帯意識を高めるため、市民周知・啓発を強化する。